# 外国語科学習指導案

| 科目名 | 論理・表現Ⅱ | | |
|---|---|---|---|
| 実施日 | 令和５年９月２６日（火） | 実施時間 | 11:25～12:15（50 分） |
| 場所 | ２年１組教室 | 指導者 | 金松　智 |
| 対象生徒 | ２年１組　理系（男子 20 名女子 12 名） | 使用教科書 | BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ（数研） |

## 外国語科　目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ，外国語による聞 くこと，読むこと，話すこと，書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な 言語活動を通して，情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケー ションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手 の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手 に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

言語活動

| 話すこと〔やり取り〕 | 話すこと〔発表〕 | 書くこと |
|---|---|---|
| ア　学校外での生活や地域社会などの日常的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，やり取りの具体的な進め方が示される状況で，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり，自分自身の状況や要望を伝え，相手の意向を把握しながら交渉したりする活動。また，やり取りした内容を整理して発表したり，文章を書いたりする活動。 | ア　学校外での生活や地域社会などの日常的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，発話例が示されたり，準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを適切な理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また，発表した内容について，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 | ア　学校外での生活や地域社会などの日常的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，文章例が示されたり，準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを適切な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 |
| イ　日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について，必要に応じて，使用する語句や文，やり取りの具体的な進め方が示される状況で，課題を明確に説明し，その解決策を提案し合ったり，意見や主張，課題の解決策などを 適切な理由や根拠とともに詳しく伝え合ったりするディベートやディスカッションをする活動。また，やり取りした内容を踏まえて，自分自身の考えなどを整理して 発表したり，文章を書いたりする活動。 | イ　日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について，必要に応じて，使用する語句や文，発話例が示されたり，準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，段階的な手順を踏みながら，意見や主張などを適切な理由や根拠とともに詳しく伝えるスピーチやプレゼンテーションをする活動。また，発表した内容について，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 | イ　日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について，必要に応じて，使用する語句や文，文章例が示されたり，準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，発想から推敲まで段階的な手順を踏みながら，意見や主張などを適切な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 |

| 単元名 | Dreaming of Space (BIG DIPPER English Logic and Expression II　Lesson 14 ) |
|---|---|
| 単元の目標 | (1) 例示されたキーワードや文法項目を用いて，与えられたテーマに対してペア間で願望や思いを伝え合い，その内容について質疑応答をすることができる。(話すこと〔やり取り〕)<br>(2) 繰り返し英文を聞き，例示されたキーワードや文法項目を用いて，その内容を伝えることができる。(話すこと〔発表〕)<br>(3) 例示されたキーワードや文法項目を用いて，与えられたテーマに対して願望や思いを複数の段落からなる文章を書くことができる。(書くこと) |

具体的な評価基準

| 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| ・英語で「現在や過去の仮定」の話をする場合，どのような表現を用いるのかを理解している。<br>・自分の夢などの仮定の話について，英語でコミュニケーションを図る技能を身につけている。 | ・適切な場面において，仮定法過去を用いて，「現在の事実と異なる仮定」を，仮定法過去完了を用いて，「過去の事実と異なる仮定」 を表現したり書いたりしている。<br>・仮定法過去，仮定法過去完了の用法に注意して，個々の英文の意味を理解し，適切な思考・判断をもって応答している。 | ・聞き手に自分の発表を理解してもらえるように，順序よく，自分の考えを入れながら伝えようとしている。<br>・仮定法を用いて，与えられた課題に対してペア間で質疑応答しようとしている。<br>・仮定法を用いて，与えられた課題に対して複数の段落からなる文章を書こうとしている。 |

**単元計画**

| 次 | 時 | 評価規準と評価方法 | 学習活動 |
|---|---|---|---|
| 一 | 1 | 〔評価規準〕<br>仮定法過去・仮定法過去完了について学び，短い文の内容を理解したり，正しく活用して練習問題を解くことができる。(知識・技能)<br>〔評価方法〕解答の確認，活動の観察 | リスニングによるディクテーションを行い，本単元で学ぶ内容（仮定法過去・仮定法過去完了）について考える。<br>仮定法過去と仮定法過去完了の使用法や違いを学び，それを活用して練習問題に取り組む。<br>与えられたテーマに対し，仮定法過去と仮定法過去完了を用いながら，ペア間で口頭による意見交換を行う。 |
| 二 | 2 | 〔評価規準〕<br>リテリング活動の際，仮定法過去・仮定法過去完了を用いて場面や状況に応じた表現をすることができる。(思考・判断・表現)・(主体的に学習に取り組む態度)<br>〔評価方法〕自己評価・活動動画提出 | リスリングの内容を聞き，活動に必要なキーワードを書き取る。それを用いて 1 回目のリテリングを行う。<br>リテリングに活用できる表現・キーワードを slido のワードクラウドを用いて共有し，それらを用いてリテリングの改善を行う。<br>リテリング内容を録画し，その内容に対し自己評価を行う。また，その録画した動画を提出する。<br>与えられたテーマに対してペア間で願望や思いを伝え合い，その内容について質疑応答をする |
| 三 | 3 | 〔評価規準〕<br>与えられたテーマに対して，願望や思いを複数の段落からなる文章を書くことができる。(思考・判断・表現)・(主体的に学習に取り組む態度)<br>〔評価方法〕活動の観察・英文提出 | 与えられたテーマに対して，願望や思いを複数の段落からなる文章を書く。その際に順序や論理の構成を意識する。 |

# 本時の学習指導案

| | | | |
|---|---|---|---|
| 小単元<br>および<br>本時の位置 | Lesson 14<br>Dreaming of Space | 本時の目標 | 身近な話題について，自分の願望や思いを本単元で学んだ表現を用いて伝えることができるようになる。 |
| 生徒の実態<br>及び<br>指 導 観 | 本クラスは，２学年理系である。本単元のターゲットである仮定法過去，仮定法過去完了に関しては練習問題や意味をとらえる問題は解けるようになってきた。しかし，それを用いて状況を説明したり，自分自身で英文を話したりすることは苦手とする生徒が多い。本日の授業ではインプットからアウトプットへ繋げる言語活動を通して，活用例に実際に触れさせながら，学習事項の定着と状況に応じた活用，さらには主体的に活動に取り組む姿勢を養いたい。 | | |

| | | a | b | c |
|---|---|---|---|---|
| 観点別評価 | 知識・技能 | ・与えられたテーマに対し，仮定法過去・仮定法過去完了が使われている。<br>・与えられたテーマに対し，自分の考えを伝える十分な語彙を身につけている。 | ・多少の誤りはあるが，与えられたテーマに対し，仮定法過去・仮定法過去完了が使われている。<br>・与えられたテーマに対し，十分ではないが，自分の考えを伝える語彙を身につけている。 | ・「b」を満たしていない |
| | 思考力・判断力・表現力 | ・与えられたテーマに対し，理由や根拠を加えながら自分の願望や思いを伝えている。 | ・多少の誤りはあるが，与えられたテーマに対し，自分の願望や思いを伝えている。 | ・「b」を満たしていない |
| | 主体的な学習態度 | ・ペア活動の中で自分の発表だけではなく，話し手の発表もしっかりと聞き，積極的に質疑応答をしようとしている。 | ・ペア活動の中で自分の発表内容を懸命に伝えようとしている。 | ・「b」を満たしていない |

## 指　導　過　程

| 指導過程 | 学習内容 | 主な言語活動等 | 指導上の留意点 | 評価の観点・方法 |
|---|---|---|---|---|
| 導入<br>（３分） | 英語での意見交換 | ①週末にした３つのことをペアで伝え合い，内容について質疑応答を行う。<br>②代表生徒が発表し，その内容についてペアが異なる生徒と質疑応答を行う。 | ・教師が例を示すことで，それに沿って伝えることができるようにする。 | 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしているか。<br>【主体的】[行動観察] |
| 概要把握<br>（２分） | 授業手順理解 | 説明をしっかりと聞く。 | ・教師に注目することで，説明をしっかりと聞けるようにする。 | 授業の流れを理解しようとしているか。<br>【主体的】[行動観察] |
| 帯活動<br>（３分） | 音読練習 | ①文字起こしのサイト(notta)を用いて，授業プリントの短い文の音読を録音する。<br>②文字起こしされた文を見て，正確性を自己評価する。 | ・文字起こしのサイト(notta)を使うことで，正しく音読できているか確認し，自己評価できるようにする。 | 改善点を確認し，改善しようとしているか。<br>【主体的】[行動観察] |
| 内容理解<br>（１０分） | リスニング | ①リスニング後，３つの問題に答える。<br>②聞き取った情報などをペア間で意見交換する。<br>③解答を確認する | ・数回英文を流すことで，１回では理解できなかった生徒もあきらめずに取り組めるようにする。 | 質問に正確に答えられているか。<br>【知・技】[解答確認] |
| 表現活動①<br>（７分） | リテリング① | ①再度同じ文章を聞き，キーワードや必要な表現をメモする。<br>②１分間の準備の中でリテリングする内容を整理する。<br>③イラストを見せながら，聞き取ったキーワード等を用いてリテリングを行う。相手のリテリング内容から有効な表現等をメモする。 | ・順序を丁寧に説明することで，活動内容を正しく理解できるようにする。<br>・リテリングが苦手な生徒のサポートをすることで，２回目のリテリングにつなげるようにする。 | キーワードが聞き取れているか。<br>【知・技】[ワークシート確認]<br>積極的にリテリングを行っているか。<br>【主体的】[行動観察] |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 内容理解<br>（３分） | キーワードシェア | ①slido のワードクラウドを活用し，聞き取ったキーワードや重要表現を入力する。<br>②入力されたものを確認し，リテリングに有効な表現等を確認する。 | ・入力されたものの中でリテリングに有効な表現等（仮定法過去・仮定法過去完了）を拾い上げることで，次のリテリングに必要なものを理解できるようにする。 | 自分の聞き取ったキーワードを入力できているか。<br>【主体的】[行動観察] |
| 表現活動②<br>（５分） | リテリング② | ①１分間の準備の中でリテリングする内容を再検討する。<br>③イラストを見せながら，１回目の内容に改善点を加えながらリテリングを行う。相手のリテリング内容から有効な表現等をメモする。 | ・リテリングが苦手な生徒のサポートをすることで，自分の言葉で伝えようとする主体的な態度を身に着けようとすることができる。 | 積極的にリテリングを行っているか。<br>【主体的】[行動観察] |
| アウトプット活動<br>（３分） | レコーディング | ①個人端末のカメラでリテリング内容を録画する。同時に文字起こしサイト(notta)も活用し，話した内容を可視化する。<br>②動画をグーグルフォームで提出する。 | ・録画だけではなく文字起こしサイト(notta)を活用させることで，発音や流暢さも意識させるようにする。 | ルーブリックの内容を満たしているか。<br>【知・技】<br>[動画確認(後日)] |
| 自己評価<br>（３分） | 自己評価 | ①動画を視聴する。<br>②内容をルーブリックに照らし合わせて自己評価を行う。 | ・評価方法を説明することで，評価基準を意識しながら自己評価をできるようにする。 | 客観的に自己評価が行えているか。<br>【主体的】[行動観察] |
| 表現活動③<br>（７分） | 英語での意見交換 | ①与えられたテーマに対して自分の考えを１分間でまとめる。<br>②そのテーマに対して自分の考えをペア間で伝え合い，内容に関して質疑応答を行う。 | ・使うべき表現（仮定法過去・仮定法過去完了）を確認することで生徒が活動中に意識しながら活用し，定着につながるようにする。 | 積極的に意見交換しているか。<br>【主体的】[行動観察]<br>立場や状況を踏まえた考えを言えているか。<br>【思・判・表】[行動観察] |
| 振り返り<br>（３分） | 振り返りシート記入 | ①振り返りシートを用いて，自分の立てた目標に対しての自己評価を行う。 | ・授業内容を振り返させることで，自分の活動内容と目標を比べて評価できるようにする。 | 客観的に振り返りが行えているか。<br>【主体的】<br>[行動観察およびシート確認(後日)] |
| まとめ<br>（１分） | 次回の連絡 | 説明をしっかりと聞く。 | ・教師に注目することで，説明をしっかりと聞けるようにする。 | 次回の説明をしっかり聞けているか<br>【主体的】[行動観察] |

# 外国語科学習指導案

| 科目名 | 英語コミュニケーションⅠ | | |
|---|---|---|---|
| 実施日 | 令和５年１１月７日（火） | 実施時間 | １１:２５ ～ １２:１５（５０分） |
| 場所 | １年４組教室 | 指導者 | 肥田木洋之 |
| 対象生徒 | １年４組探究科学コース<br>（男子１８名，女子１７名） | 使用教科書 | Grove English Communication Ⅰ （文英堂） |

| 外国語科　目　標 |
|---|
| 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ，外国語による聞くこと，読むこと，話すこと，書くことの言語活動及びこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して，情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 |
| (1)外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと，による実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。<br>(2)コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。<br>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 |

具体的な言語活動

| 聞くこと | 読むこと | 話すこと〔やり取り〕 | 話すこと〔発表〕 | 書くこと |
|---|---|---|---|---|
| ア　日常的な話題について，話される速さが調整されたり，基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら，対話や放送などから必要な情報を聞き取り，話の展開や話し手の意図を把握する活動。また，聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 | ア　日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 | ア　身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，やりとりの具体的な進め方が十分に示される状況で，情報や考え，気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また，やりとりした内容を整理して発表したり，文章を書いたりする活動。 | ア　身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，発話例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 | ア　身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 |
| イ　社会的な話題について，話される速さが調整されたり，基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら，説明や説明などから必要な情報を聞き取り，概要や要点を把握する活動。また，聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 | イ　社会的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文書の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，説明文や論証文などから必要な情報を読み取り，概要や要点を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 | イ　社会的な話題について，使用する語句や文，やりとりの具体的な進め方が十分に示される状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，賛成や反対の立場から，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに伝え合う活動。また，やりとりした内容を踏まえて，自分自身の考えなどを整理して発表したり，文章を書いたりする活動。 | イ　社会的な問題について，使用する語句や文，発話例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また，発表した内容について，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 | イ　社会的な問題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 |

| 単元名 | Braille Neue: Connecting Dots with Lines（Grove English Communication Ⅰ Lesson 5） 第７時 |
|---|---|
| 単元の目標 | (1) ゆっくり丁寧に話されれば，新しい点字の成り立ちについての発話の概要や要点を理解できる（聞くこと）<br>(2) 新しい点字について，平易な英語で書かれた短い文書を読んで，概要や要点を理解できる（読むこと）<br>(3) 新しい点字の成り立ちに関して書かれた意見や感想について，簡単な英語を用いて意見を交換することができる（話すこと〔やり取り〕）<br>(4) 新しい点字について，簡単な語句や表現を用いて，自分の意見や感想を書くことができる（書くこと） |

具体的な評価規準

| 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| ・文章の聞き取りや読み取りに必要となる語彙や表現，音声等を理解している。<br>・新しい点字についての意見や感想を理由とともに話して伝える技能を身に付けている。 | ・読み手や聞き手によく理解してもらえるように，新しい点字について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の意見や感想を，論理の構成や展開を工夫しながら書いたり，話して伝え合ったりしている。 | ・読み手や聞き手によく理解してもらえるように，新しい点字について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の意見や感想を，論理の構成や展開を工夫しながら書いたり，話して伝え合おうとしている。 |

単元計画

| 時 | 評価規準と評価方法 | ねらい（■），学習活動（丸数字） |
|---|---|---|
| 1 | 〔評価規準〕<br>英語を聞いて理解した内容を活用し，相手に伝わるよう工夫をしてやりとりをしている。（思考・判断・表現）<br>〔評価方法〕行動の観察 | ■単元のテーマに対する目標を確認し、学習の見通しを持たせる。<br>①単元目標シートを使って目標を設定する。<br>■単元のテーマに関する情報を共有し、生徒の興味・関心を喚起する。<br>①スモールトークを活用し，身近な点字の例を共有する。<br>②英語で理解した内容について，ペアでリテリング活動を行う。 |
| 2<br>～<br>9 | 〔評価規準〕<br>読み手や聞き手によく理解してもらえるように，新しい点字について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の意見や感想を，論理の構成や展開を工夫しながら書いたり，話して伝え合ったりしている。（思考・判断・表現）<br>〔評価方法〕パフォーマンス課題・自己評価 | ■教科書の内容から必要な情報を得たり，概要や要点を捉えたりする。<br>①新しい点字に関する話を聞いて，概要や要点を理解する。<br>②教科書を読んで，必要な情報を理解し，ペアで概要をリテリングする。<br>■教科書で学習したことに対し，自分の感想や意見を伝える。<br>①思考ツールを使い，感想や意見内容の焦点化・構造化を行う。<br>②読み手に伝われるよう，論理の構成や展開に工夫して英文を書く。<br>③書いた英文をペアやグループで読み合い，英語で感想を述べたり，内容や構成，表現について質問したりする。<br>■中間評価を行い学びの調整を行う。<br>①単元目標シートを使い、自己評価を行う。 |
| 後日 | 〔評価規準〕<br>読み手や聞き手によく理解してもらえるように，新しい点字について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の意見や感想を，論理の構成や展開を工夫しながら書こうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）<br>〔評価方法〕レッスンレポート・ペーパーテスト | ■本単元を通して学んだ内容をまとめ，学習内容の定着を行う。<br>①レッスンレポートに，本単元を通して学んだ内容に対する自分の感想や意見を英語で書く。<br>②レッスンレポートに，本単元を通して学んだ内容や文法事項などをまとめる。<br>③単元目標シートを使い，学習方法の振り返りを行う。 |

# 本時の学習指導案

| | | | |
|---|---|---|---|
| 小単元<br>および<br>本時の位置 | Part 5<br>Braille Neue: Connecting Dots with Lines | 本時の目標 | 新しい点字について，簡単な語句や表現を用いて，自分の意見や感想を伝え合ったり，書いたりすることができる。 |
| 生徒の実態<br>及び<br>指 導 観 | 本クラスは普通科探究科学コースであり，学習に対する意欲が高い生徒が多く在籍している。しかし，英語に対する習熟度に差があり，基礎なドリルも取り入れながら学習を行っている。また，自分の意見や感想をまとめる際、意見の焦点化や構造化が難しい生徒も多く，単元での学習を通して，読み取った内容について，論理的に意見を書いたり話したりできる力を養っていきたい。 | | |

| | | a | b | c |
|---|---|---|---|---|
| 観点別評価 | 知識・技能 | ・語彙や表現が適切に使用されている。<br>・既習事項を活用したり，言い換えて使ったりしている。 | ・多少の誤りはあるが，理解に支障のない程度の語彙や表現を使っている。<br>・既習事項を活用している。 | ・「b」を満たしていない |
| | 思考力・判断力・表現力 | ・新しい点字について学んだ内容を踏まえ，自分の気づきや思いを，体験談とともに表現している。 | ・新しい点字について学んだ内容を踏まえ，自分の気づき，もしくは思いを表現している。 | ・「b」を満たしていない |
| | 主体的な学習態度 | ・新しい点字について学んだ内容を踏まえ，自分の気づきや思いについて，体験談とともに表現しようとしている。 | ・新しい点字について学んだ内容を踏まえ，自分の気づき，もしくは思いを表現しようとしている。 | ・「b」を満たしていない |

## 指　導　過　程

| 指導過程 | 学習内容 | 主な言語活動等 | 指導上の留意点 | 評価の観点・方法 |
|---|---|---|---|---|
| 帯活動（SI）<br>（８分） | Quick Q&A | ペアを変えながら即興で Q&A 活動を行う。 | ・時間いっぱいやりとりが続くよう促す。 | 積極的に活動等に参加しているか。<br>【主体】（観察） |
| 復習（SI）<br>（５分） | 前時の振り返り | 教員との英語でのやりとりを通して，これまでの学習を振り返る。 | ・生徒の意見を引き出しながら振り返りを行う。 | |
| 本文理解（R）<br>（１０分） | 音読練習 | ①　サイトラシートで読みの練習・表現の取り込みを行い，ペアで確認。<br>②　ペアで概要のリテリングを行う。 | ・発音やイントネーションに注意して読むよう指導する。 | |
| ゴール確認(LS)<br>（５分） | ルーブリックの確認 | ライティング例とともにルーブリックを示し，活動のゴールイメージを共有する。 | ・ライティングのポイントが伝わるよう，実際の例を踏まえて説明する。 | |
| 表現活動①<br>(W)<br>（１０分） | ライティング<br>「焦点化・構造化」 | ①　ピラミッドチャートを使い，考えをまとめる。<br>②　英作文に取り組む。 | ・ピラミッドチャートには，端的な表現で記入するよう指導する。<br>・既習の表現を活用するよう指導する。 | ルーブリックの内容を満たしているか。<br>【思判表】（提出） |
| 表現活動②(SI)<br>（７分） | ライティングに対する意見交換 | ①　ペアで意見を読み合う。<br>②　相手の意見に対する感想を英語で伝え合う。 | ・グループ活動がしっかりできているか注視する。 | 積極的に活動に参加しているか。<br>【主体】（観察） |
| 自己評価(LS)<br>（５分） | 自己評価 | タブレットを使って本時の振り返りをする。 | ・正しい場所に記入できているか確認する。 | 客観的に振り返りができているか。<br>【主体】（提出） |

SI: Speaking Interaction　R: Reading　LS: Learning Strategy　W: Writing